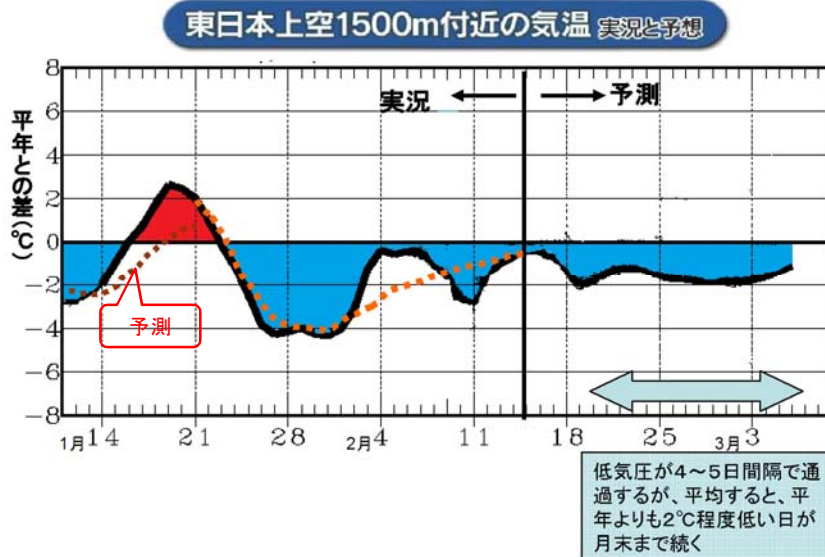


平成23年度の降雪状況について

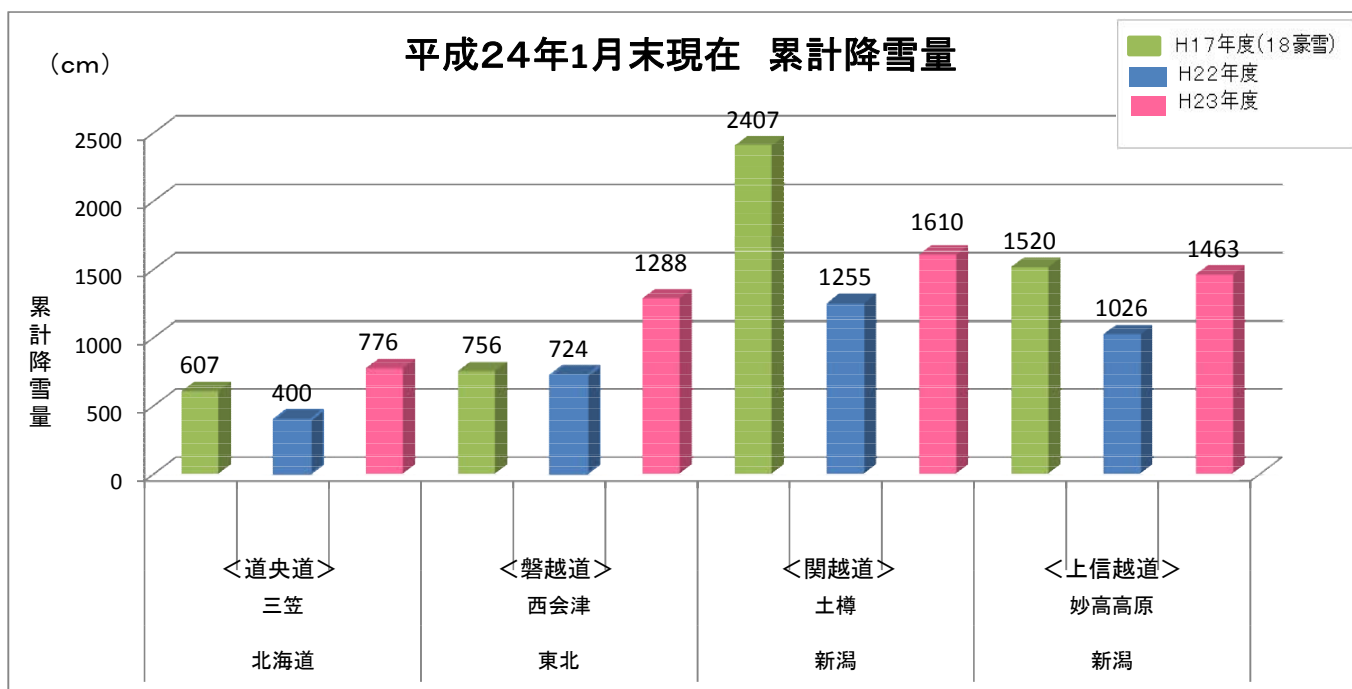
◆ 気象概況

- ・クリスマス寒波、1月末～2月上旬、2月中旬と非常に強い寒気が停滞
- ・気温は平年に比べて2～3度以上低い状態が続く
- ・日本海側を中心に大雪となり、過去の記録的寒波(「三八豪雪」「五六豪雪」「平成18年豪雪」)に匹敵



1. H23.11.1～H24.1. 31までの累計降雪量

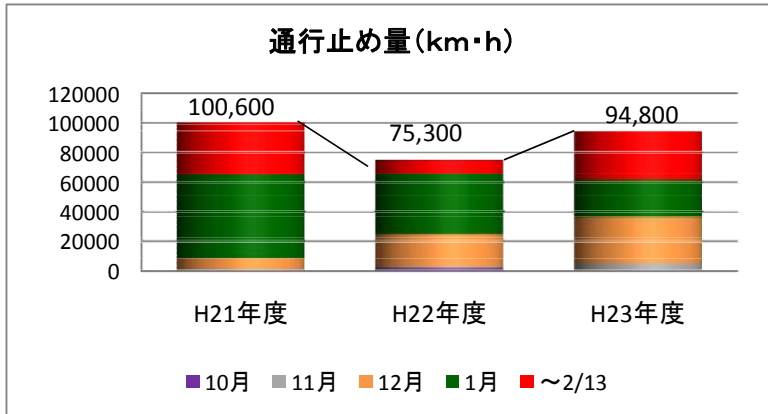
- 道央道の三笠における上記期間中の累計降雪量は約8mとなり、18豪雪(約6m)及び昨年度同時期(約4m)より多い。
- 磐越道の西会津では約13mとなり、18豪雪(約8m)及び昨年度同時期(約7m)より多い。
- 関越道の土樽では約16mとなり、18豪雪(約24m)より少ないが、昨年度同時期(約13m)より多い。
- 上信越道の妙高高原では約15mとなり、18豪雪(約15m)と同等で、昨年度同時期(約10m)より多い。



2. 降雪の影響による通行止め実施状況

●降雪の影響による通行止め量は、昨年度同時期では約75,300km・hに対して、約94,800km・hとなり、昨年度と比較すると19,500km・hの増(26%)となった。

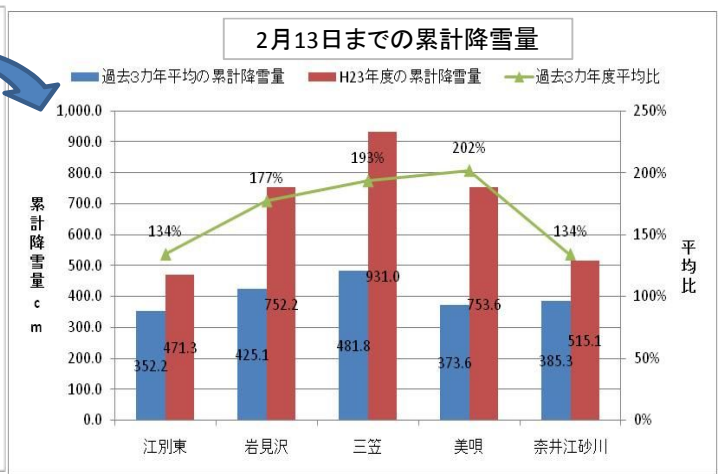
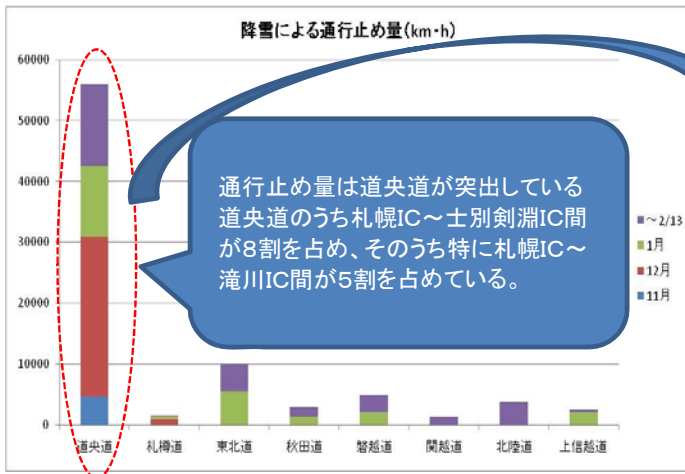
①全路線計



※通行止め量: 通行止めを実施した区間距離に通行止め時間を乗じた、通行止めの絶対量を表す指標。

通行止め量(km・h) = 通行止め区間距離(km) × 通行止延べ時間(h)

②路線別通行止め量

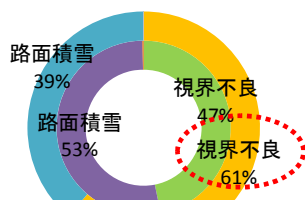


道央道岩見沢付近における状況



③事象別内訳

雪氷関連通行止め量 事象別内訳



凡例
 ■ H22路面積雪 ■ H22視界不良
 ■ H23路面積雪 ■ H23視界不良

視界不良状況



視界不良による通行止め時に巡回車内より撮影